

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 広瀬 義朗

取組状況	
教育	<p>1. 国際社会と文化 I (第3学年、通年選択科目)では、昨年度と同様に1年時の地理歴史 I の復習とグループワークを行った。前期の授業では、発表内容の打ち合わせ、中間発表、前期発表の下準備などを行い、公開授業に合わせて授業を進めた。その甲斐あって、公開授業時にある先生が見学に来られ、貴重なコメントを下された。後期の授業では主に、ワークブックの解答・解説と2度目の発表を行った。昨年度は、学生の授業コメント欄にALに対して多少不満な点が書かれていたが、今年度に関しては何もなかった。同じような授業をしても、学生によって満足度が異なることに注意したい。2. 経営学 I (第4学年、通年選択科目)では、例年と同様にi-PADを用いてグループワークをしながら企業の財務分析を行った。前期は各自一社の担当、後期は各チームで同業種(例えば自動車会社ならトヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車など)の財務分析の比較を行った。3. 国際経済学(第5学年、半期選択科目)では、半期科目となって初めての年度であったが、学生の協力を得て比較的満足度の高い授業内容となった。4. なお公民 II (第3学年、通年必修科目)では、電気電子工学コースの「チーム川越」が品川ビジネスコンテストにおいて優秀賞(2位)を2年ぶりに獲得し、本校の学生がアイデア創造の実力を発揮してくれた。他校も本腰で応募しており、今後受賞は厳しくなっていくと予想される。</p>
研究	<p>1. 論文を執筆 広瀬 義朗「カナダの租税政策と税制改革—カーター委員会報告から2000年税制改革まで—」篠原 正博編『経済成長と財政再建』中央大学経済研究所研究叢書 73、中央大学出版部、2018年9月(査読有り)。</p>
社会貢献	<p>1. 公民 II の授業で日本政策金融公庫に講演を依頼、「ビジネスアイデアの発想・ビジネスプランの考え方～基礎編～」2. 公民 II の授業で日本年金機構品川年金事務所に講演を依頼、「知っておきたい年金の話」3. 公民 II の授業で財務省関東財務局東京財務事務所に講演を依頼、「日本の財政の現状と課題について～日本の未来を考える～」4. 経営学 I の授業で女性企業家に講演を依頼、「女性起業家について」、財務省関東財務局東京財務事務所に講演を依頼、「金融の新たな世界 Fintechについて」5. 国際経済学の授業で麴町税務署に講演を依頼、「租税教室～税の基本と企業活動～」6. 地域経済論(専攻科第1,2学年)の授業で財務省関東財務局東京財務事務所に講演を依頼、「地方財政」7. ものづくり工学・夏期集中科目キャリアデザイン特論の授業で東京中小企業家同友会太田支部と協力し、本校OBと起業家に講演を依頼、「仕事が変わる！ AI時代に生き残るエンジニアとは？」</p>